

# 七高SSH通信

R5/12/25  
令和5年度  
第13号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

## 自然科学研究Ⅰ（第1学年理数科）

### 「最先端医療」（12月8日）

1年生生理数科生徒に対して、「自然科学研究Ⅰ」で、「最先端医療」のユニットとして、金沢医科大学総合医学研究所の石垣教授による「細胞治療の現場と今後の展望」の講義が行われました。

このユニットは、第一線の研究者による講座を通して、医学の最先端について学習し、生命現象について理解を深め、科学的な視野を養うことを目的として、毎年行われています。

講義では、細胞やその仕組みについて、わかりやすく説明してくださり、生徒も質問をしていました。



# 日本動物学会中部支部大会

12月2日(土)、三重大学で行われた「日本動物学会中部支部大会」にて、本校SSCの1年生2グループと2年生1グループがオンラインでポスター発表をおこないました。

それぞれの発表に対し、研究者の方たちからもたくさんの質問があり、発表者は一生懸命答えていました。さらに、今後どのように研究をすすめていけばいいか、その方法や参考になるような他の研究例など、様々なアドバイスをいただくことができました。また、本校の『ツボシメジカイメンのろ過能力について』（15H 延田くん、山端さん）、『環境DNAを用いた能登地域の河川の魚類相の調査』（13H 田中くん、15H 浅田さん、金沢さん、竹澤くん、延田くん、山口色葉さん）、『ドジョウ飼育水における様々な温度での環境DNA量の経時変化』（26H 柴さん、中山絢乃さん、松原くん、村山くん）の研究が優秀発表賞として表彰されました。



『ツボシメジカイメンのろ過能力について』 『環境DNAを用いた能登地域の河川の魚類相の調査』 『ドジョウ飼育水における様々な温度での環境DNA量の経時変化』

# SSH・NSH 成果発表会

12月21日(木)に七尾高校SSH・NSH成果発表会が行われました。内容は、公開授業です。2・3限目の公開授業は、理数科と普通科文系フロンティアコースの2年生が4月から「自然科学研究Ⅱ(課題研究)」「課題研究BⅡ」で取り組んできた課題研究について、普通科文系フロンティアコースの1年生が10月から「課題研究BⅠ」で取り組んできた観光マップ作成についてのポスター発表会でした。大学や県内高校、中学校の先生方がご来校下さり、生徒の発表の様子を参観されました。

## 1年生の感想

- 実生活に役立つような研究が多く、聞いていて興味深かった。本当に実用されたらすごいと思った。
- 身近な問題についての研究で、興味をひくものが多かった。環境に配慮して研究をしているのもよいと思った。
- テーマ・ターゲット設定の仕方はほかの班を参考にし、今よりも良いものを作り上げていきたい。
- なぜそのことを調べたのかを最初に伝えないと分かりにくくなるということに気づきました。
- 調査してわかったことや、研究を通してわかったことだけを発表するのではなく、そこから改善点や問題点を出していたところが参考になった。

## 2年生の感想

- 文フロの発表は、現実的かつ実用的なものが多く、聞いていて、ワクワクしました。
- どの班もテーマ設定から着眼点や背景がしっかりあって面白いと思った。
- 能登の知らない魅力がたくさんあってプランも対象とした人に合わせてよく考えられていた。
- 自分たちのビジネスプランが地域へどんな影響を与えるかも考えていこうと思いました。
- 理数科の剣道の面の消臭についての発表と、自分たちの班の柿の消臭効果と融合できそうだった。

